

さいたま市におけるインフルエンザの流行状況（速報）

2008-2009 年シーズン、第 19 週(5 月 4 日～5 月 10 日)

★ 新型インフルエンザ(ブタインフルエンザ H1N1)に関する情報

※ 症例定義、届出様式が 5 月 9 日に変更されました。

疑似症患者の症例定義中の「まん延している国又は地域」は 5 月 13 日 11 時現在、メキシコ、アメリカ(本土)、カナダの 3 国のみで変更はありません。

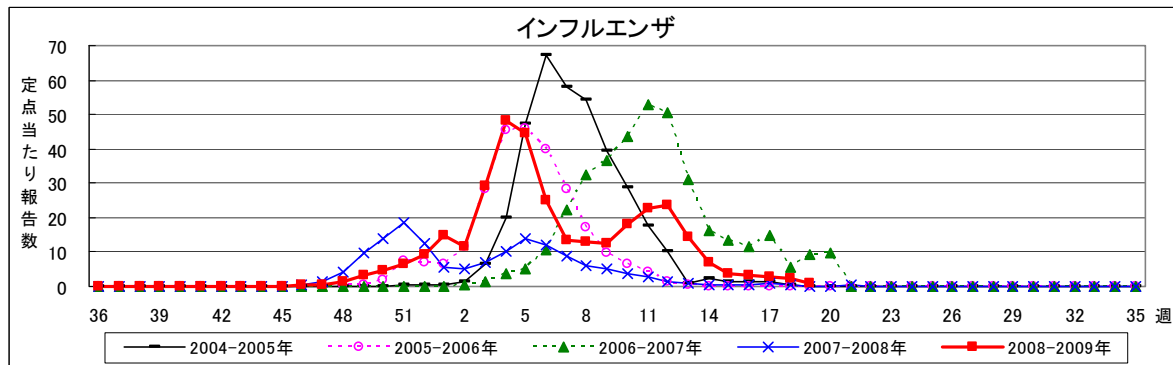
↓ 情報は随時更新されています、最新の情報をご覧ください ↓

- 1 厚生労働省ホームページ: 新型インフルエンザに関する情報—各種通知、情報を掲載
- 2 国立感染症研究所 感染症情報センターホームページ: 新型インフルエンザ(ブタ由来インフルエンザ A/H1N1)「国内医療機関における診断の流れ」「抗ウイルス薬による治療・予防投薬の流れ」などを掲載
- 3 さいたま市の電話相談窓口 : 048-840-2220 詳細は市ホームページをご覧ください。
- 4 さいたま市感染症情報センターホームページ: 症例定義・届出様式、発生国情報など関連情報を掲載

※ニューイングランドジャーナルオブメディスン誌に掲載された論文によれば、アメリカ合衆国の 642 人の患者の状況として、患者の 25% に嘔吐、同じく 25% に下痢があり、患者の 38% にどちらか又は両方の症状がみられたと報告されています。

I. インフルエンザ患者発生報告状況（今週はゴールデンウィークの影響を受け、参考値となります）

感染症発生動向調査による定点医療機関からの患者報告状況



第 19 週の定点医療機関(市内 39ヶ所)からの患者報告数は 41 人でした。「定点当たり報告数」は、**1.08 人**で、流行の指標となる「定点あたり報告数 1.0」を超えている状況です。第 19 週までの累積報告患者数は、12,409 人です。

今後、国内での新型インフルエンザ(ブタインフルエンザ H1N1)の感染の広がりも心配されます。予防及び感染拡大防止のため、咳エチケット・手洗い・ウガイの励行、並びに体調の悪いときは早めに休み、受診するよう御指導お願いします。

II. 市内病原体定点等からのインフルエンザ検体ウイルス検出状況について

今シーズン、第 16 週までに提供された検体からのウイルス検出状況は、表のとおりです。

インフルエンザウイルス検出数(第19週)

検体採取週	分離 ¹⁾			未分離 ²⁾		
	A型		B型	A型		B型
	H1亜型	H3亜型		N1遺伝子	N2遺伝子	
2008年						
第36～52週	7	5	0	0	0	0
2009年						
第 1～ 8週	12	4	5	0	0	0
第 18週	0	0	0	0	2 ³⁾	0
第 19週	0	0	0	0	1	0
合計	19	9	5	0	3	0

※この情報は 5 月 13 日現在の速報です、後日データの修正をすることがあります。

- 1) ウイルスそのものが検出されたもの
- 2) ウイルスの遺伝子が検出されたもの
- 3) 同一患者の検体(採取部位が異なる)